

獨協大学ニュース

DOKKYO UNIVERSITY
NEWS

7

2021

VOL.473



特集

蔵書数100万冊突破!!

図書館利用はじめての一步

 DOKKYO UNIVERSITY

蔵書数100万冊突破

図書館利用はじめての一步

大学での学びの拠点である「図書館」。図書館は、さまざまな資料やサービスで、皆さんの学びをサポートしています。学生の皆さん、特に新入生の皆さんの中には、「レポートの課題が出たけれど、どうしたらよいかわからない」という方がいるかもしれません。100万冊を超える蔵書から、レポートを書くために必要な資料を探す…。まずははじめての一步を踏み出してみませんか。



STEP1 START

レポートの課題が出た。
天野貞祐記念館の図書館へ
行こう!



STEP5

検索して手に入れた
データを元に
本を探そう



分からないときはヒント③の
レファレンスカウンターへ行こう!

到着



STEP2

STEP3

早速、ゲートを通ろう!

ゲートの通り方は
左ページの
ヒント①を見てね

本はどうやって
探すんだろう?



STEP4

スマホ/PCから
必要な本を
探してみよう

OPAC



OneSearch



左ページの
ヒント②を見てね



レファレンスカウンター(相談窓口)

1階と2階のフロアの中央部分にある「レファレンスカウンター」に、皆さんの学修をサポートするスタッフがいます。資料の探し方や、データベースの使い方、レポートの書き方についてなど、幅広く質問を受け付けています。ぜひ気軽にご相談ください。なお、調査や資料の取り寄せには時間がかかることもありますので、余裕をもってお越しください。

プロが教える! レポート・論文の書き方講座

9月30日まで、レポートの基礎知識、資料の収集、本の要約、論理的な展開方法、体裁の整え方、引用の仕方と参考文献について、6回シリーズの講座(1回10分程度)をオンデマンドで配信しています。プロのライティングアドバイザーが基礎から丁寧に説明しています。

詳細は、

PorTaII ▶ 新着揭示 ▶ 図書館・学修支援・語学学習

獨協大学図書館Twitter

図書館ホームページなどに掲載しているガイダンス、イベント情報などのお知らせのほか、本やデータベースなどの資料を紹介します。こちらのQRコードからぜひフォローしてください。





知の森、心の散歩



山本 淳
図書館長

みなさんにとって、図書館はどのような場所でしょうか。外からは見えませんが、中には広い広い知の森が広がっています。その森にはさまざまな道があって、私たちを多様な世界に導いてくれます。一応地図（図書館マップや蔵書検索システムOPACなど）がありますから、目的（の本）まで一直線に向かうこともできますが、ぶらり心の散歩でもするよう、気ままに本を手にとってみるのも悪くありません。そこには陽だまりも木陰も（窓際の席も、静かに本を読む席も、もちろんPCが使える席も）たくさんあり、しばし休息をとることもできます。コロナ禍が過ぎれば、散歩仲間と談笑することもできるでしょう。

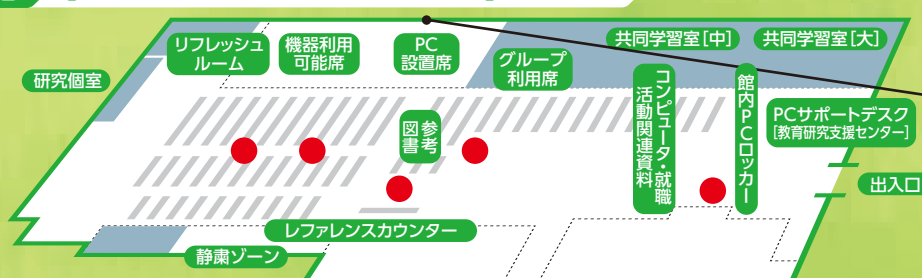
図書館は、時代の要請に応え、積極的に電子化を進めることで、知の森をさらに広げようとしています。同時に心の散歩ができる具体的な空間も、引き続き大切にしていきたいと思っています。みなさんもぜひ図書館の散歩を日課にしてみてください（図書館の前には緑あふれるリアルな中庭もあります）。そうすればきっと、みなさんの心を動かす世界が今まで以上に広がっていくでしょう。

3階 【芸術・言語・語学・文学】のフロア



多読本コーナー

2階 【社会科学・自然科学・工学・産業】のフロア



外の景色が見える閲覧席

1階 【総記・哲学・歴史】のフロア

ヒント②

館内の検索PC ● で
OPAC（蔵書検索）
を使ってみよう



機器利用可能席

PC設置席

新着書・特集・
指定書コーナー

新聞コーナー

出入口

日本学コーナー

静粛ゾーン

総合レファレンスカウンター

メインカウンター



ヒント③

レポートについて、本の探し方など
色々聞いてね

ヒント①

学生証をかざすと
ゲートが開くよ



図書館開館時間
月～土 9:00～19:00
7月中の日曜日 10:00～18:00

※7月中（試験期間）の日曜日でも開館しています。

（7月1日現在）

詳しくは
図書館カレンダーを
参照



の部分は、7月1日現在利用ができません。
（今後、変更の可能性があります）

新型コロナウイルスと向き合ってきたこの1年

昨年の第26回学部長メッセージにも書きましたが、2020年1月に日本国内で新型コロナウイルス感染者が確認されてから既に1年5カ月、この間、最前線の医療現場をはじめ、様々な場所で新型コロナウイルスとの闘いに尽力されてこられたすべての方々に改めて心よりの敬意を表します。また、残念ながら、その闘いの渦中であつて、日本国内では1万3千人、全世界では375万人を超える方々がいのちを落とされました。しかも、この数字は日々増え続けています。この痛ましい出来事に、深く哀悼の意を表します。

この1年、私たちは、新型コロナウイルス

スという脅威と向き合い、様々なことを考え、模索し、「新たな日常」を築こうと努力してきました。本学でも、昨年度そして今年度と、新型コロナウイルスの感染状況を見据えながら、遠隔授業と対面授業をどのように組み合わせれば、学生諸君にとって、また、教職員にとつて、安全安心で、かつ満足度、充実度の高い学びを、そして大学生活を実現することができるとかという課題に取り組んできました。本学においても、「新たな日常」の構築はまだ途上ですが、「コロナ禍を単に災いとして忌避するのではなく、「大学は学問を通じての人間形成の場である」を建学の理念とする本学だからこそ、これを新たな学びの、そして成長の機会と捉え、これからも「新たな日常」の構築に取り組んでいきたいと思います。

学ぶことはかわること(三たび)

5月10日の『日本経済新聞』朝刊に掲載された二つの記事に注目してみよう。一つは、日経未来会議による「本学に大切なことは何か。01」です。そこでは、「新型コロナウイルスは私たちに何を気づかせてくれたのでしょうか。」から始まり、「この一年、「コロナとの闘い」と言われ続けていますが、本当に、『闘い』と向き合っていたのでしょうか。」と続き、「私たち一人ひとりの行動変容、*筆者加筆」ためにも「コロナから何を学び、何に気づき、それを読者の皆さんと共有し、より良き未来のために何をすべきかを考えていけたらと思っています。」と結んでいます。

もう一つは、池上彰の「孤独は心を鍛えてくれる」です。池上は、「いま、世界の若者が新型コロナウイルスによる混乱の中で学んでいます。教室で授業を聞き、友だちと会話するという日常を奪われてしまいました。」と述べ、「君たちが、いま感じている孤独は心を強く鍛えてくれることでしょ。逆境の中でつかなだ手心えは、長い人生を歩み、学び続けていく大きな糧になります。悩み、迷うことは決して弱いからではありません。」とエールを送っています。

両者に共通するのは、この厳しい状況だからこそ、学ぶこと、そして変わることの意味を改めて問い直す、ということではないでしょうか。学ぶことによって現実と向き合い、学ぶことによって他者と関わり合い、学ぶことによってお互いを認め合

う。そして、この〇〇し合うことによって、私たちは変わっていくのではないのでしょうか。池上は「悩み、迷うことは決して弱いからではありません。」と述べていますが、悩み、迷うことが学びの原動力となり、成長の起点となるからではないでしょうか。

一昨年、昨年の学部長メッセージで、元宮城教育大学学長林竹二の「学んだことの証はただ一つで、何かがわかることである。」^③を紹介し、それは、「大学は学問を通じての人間形成の場である」という本学の建学の理念にも通じている、と述べ、その意味を考えてきました。「コロナとの闘いが正念場を迎えている現在、これまで以上にその意味を深く考えてみる必要があります。」「コロナ禍の向こうに何が見えていますか、何を指して歩んでいこう」としていますか、そこにはどのような自分そして相手がいって欲しいですか。「コロナ禍の経験の中で、私たちが感じ、気づき、考えたこと、悩み、迷い、戸惑ったことを大切にしながら、「コロナ後の私たちに創り上げていきませんか。」

① 日経未来会議「本学に大切なことは何か。01」『日本経済新聞』2021.5.10朝刊21面

② 池上彰「孤独は心を鍛えてくれる」『日本経済新聞』2021.5.10朝刊19面

③ 林竹二「教えるということ」(国土社、1990年、pp.105-106)

※本文中の数値は、2021年6月10日現在のもの

MESSAGE

メッセージ

コロナ禍における「学び」の意味を改めて問い直そう

国際教養学部長 安井 一郎



YASUI Ichiro
筑波大学 教育学修士

■専門
教育課程、教科外教育

■担当科目
道徳教育の理論と実践
教育実習指導
教育課程論 等

「自分」を超えよう

経済学部長 倉橋 透



KURAHASHI Toru
東京大学 博士(工学)

■専 門
不動産バブルの研究
空家の研究
住宅金融のあり方の研究

■担当科目
都市経済学

しない。そういうことをやってみるんだ。すると、その分魂からこわばりがとれる。(中略)……こんなことひとつでも、人がやらねえことをやると、気持ちがひろがるんだ」。

気持ちが広がることで、昨日とは違う視点で自分自身を見つめ直すことができる。人間誰しも自己肯定する面と自己否定する面がある。自己肯定する面が少なく自信喪失につながってしまうだろう。逆に、自己否定する面がないと、人間的成長にはつながらないだろう。

重要なことは、自己肯定する面、自己否定する面を頭の中で考えておくだけでなく、紙にきちんと書いて置くことである(学生さんの場合には、これはエントリシートに書かされる、自分の長所、短所に直結する)。紙に書くことで、自分の頭の中の整理につながり、言語化される。学生さんから「面接試験で言いたいことは頭の中にあっただけど、うまく言えなかった」ということを耳にするが、普段から言語化しておけば、十分対応できるものと考えられる。

自己否定する面については、自分の努力でカバーできるものかどうか見極めることが必要である(若いうちは、自分の努力で対応できるものが多いであろう)。

自分の努力で対応できるものには、目標をたて、その実現に向けて進んでいけば良い。学問でも、スポーツでもそうである。

一方で、自分の努力では対応できないものもある。極端な話、だれでもスポーツ

のスーパースターになれるわけではない。それに対して、対応したい、目標を実現したいと思っても苦しいだけである。これを仏教では「求不得苦(ぐふとく)」。求めても得られない苦しみ」と言い、四苦八苦の一つとする。重要なのは、そういう現実を受け入れて心豊かに過ごすことである(正直、これはなかなか難しいことではあるが)。資格試験に卒業後も挑戦し続け、結局うまくいかなかったということも聞いたことがある。

必要なことは、置かれた状況をよく観察し、その状況の中でできることとできないことを見極め、できることには最善を尽くす。できないことはそれを受け入れて、その中でこれまた最善を尽くすことであろう。一方で、置かれた状況もまた変化する。その変化にうまく対応していけるのか、それはその人物の力量と普段からの準備にかかっているものと思われる。

ともあれ、学生の皆さんはまだ若く、可能性に満ちあふれている。筆者は、そんな皆さんがうらやましくて仕方がない。どうか若さを無駄にせず、日々を有益にすごしていただきたい。

<https://dews365.com/archives/165032.html>



ダンスの「ボックスステップ」をご存じだろうか。ダンスニュースメディアDews(デューズ)のサイト(文末のURL、またはQRコード参照)では、次の動きとされている(右足から始めるボックスステップの場合)。

- ① 右足を左足の斜め前に出す
- ② 左足を右足の前からかぶせるようにクロスさせる
- ③ 出していた右足を右後ろに引っ込める
- ④ 左足を左奥に引っ込める

自粛により運動不足になっていることもあり、こまめに自宅で練習している。

ただ、左足を前に出すときに右足にぶつかってコケそうになる、動画を見ながら練習するのであるが、下半身に注意を集中するあまり上半身の動きとバラバラに

オンラインによる国際交流イベントを実施

5月13日、国際交流センターは、協定校である仁荷大学^{イナ}（韓国）と学内応募で選ばれた獨大生14名によるオンライン学生交流会を行った。仁荷大生による韓国紹介の後、グループに分かれて日本語と韓国語を交えながら話し、計28名の学生が日韓交流を楽しんだ。

5月25日には、獨大生18名が各国からの交換留学生等とともに対話型イベント「J-Café」を実施した。同企画は学生主体の取り組みであり、7月まで3回にわたり開催される。初回は「私の地元紹介」をテーマに、獨大生が作った草加市を紹介する動画を視聴。その後グループに分かれてそれぞれの「地元」について、日本語と時折英語を混じえて会話を楽しんだ。

海外との交流が難しい時期ではあるが、国際交流センターでは今後もさまざまな形で国際交流の機会を提供していく。



韓国・仁荷大学との交流の様子

父母の会総会 開催

5月15日、2021年度獨協大学父母の会総会が新型コロナウイルス感染症対策を十分にとった上で、東棟102教室で行われた。

山路朝彦学長・父母の会名誉会長は「新型コロナウイルス感染症対応に際しては、多大なご寄付、ご寄贈を賜りました」と、同会の支援に謝意を表すとともに、大学における新型コロナウイルスへの対策をとりつつ教育の継続に取り組む決意を述べた。野間綾子代表幹事の挨拶の後、2020年度収支決算と2021年度父母の会正会員幹事及び監査11名が承認された。

総会終了後、新役員による第1回幹事会が開催され、代表幹事に野間綾子氏が再び選任されたほか、副代表幹事と執行幹事が決まり、2021年度の父母の会の活動がスタートした。なお懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見合わせた。



挨拶を述べる山路朝彦学長

高校教員対象入試説明会を開催

6月2日、入試課は、高校教員を対象とした「獨協大学入試説明会」を開催した。今回は対面による開催に加え、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン配信も行った。事前申し込みはオンライン視聴も合わせ197名（164校）あり、当日は102校から105名の高校教員が来学した。

西棟102教室を会場とした第I部では、駿台教育研究所の石原賢一進学情報事業部長による「2021年度大学入学共通テストの分析と私大入試結果について」と題した講演と、指物敏一入試課長による「獨協大学2021年度入試結果と2022年度の新たな入試制度について」の説明があった。第II部では、会場を同棟2階の教室に移し、学科別個別相談会を実施した。第I部同様、多くの高校教員が参加し、相談ブースに訪れた。

入試・入学者選抜に関する相談は入試課まで（TEL 048-946-1900）



5月6日以降の授業方針について（報告）

ホームページ等でお知らせしている通り、埼玉県および草加市に発出された「まん延防止等重点措置等に基づく協力要請」および東京都が発令された「緊急事態宣言」により、一時的に学内への入構者数を少なくする措置として、5月6日（木）から6月12日（土）までを「遠隔授業拡大期間」としました。

6月14日（月）以降については、6月19日（土）までの対面授業再開に向けての移行期間を設けて、再開準備ができた授業から順次対面授業を実施。6月21日（月）以降は、2021年2月26日付ホームページ掲出の「2021年度新学期に向けて」で示した通り、今年度の授業に関する基本方針に従い、対面授業を基本としました。

今後の感染拡大状況および社会情勢によっては、授業実施方法を見直すこともあります。



大学内にWeb就職面接用 個室ブースを設置

キャリアセンターは、今春、学生の就職活動におけるWeb面接用個室ブースを4か所設置し、学業と就職活動を両立できる環境を整備した。

現在、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、多くの企業が採用活動にWeb面接を導入している。一方、2021年度春学期は対面授業中心のスタートとなったことから、遠距離通学をしている学生や、授業の合間などに採用試験を受けたい学生から「キャンパス内でWeb面接を受けることのできる施設はないか」という問い合わせが寄せられた。今回、そんな学生のニーズに応える形で、面接に必要な静穏性と機密性を確保した個室ブースをキャリアセンター内に設置した。

「いぬいときお」 乾 凱雄キャリアセンター事務課職員は「4年生に限らず、インターンシップの選考などで、3年生の利用も開始しています。利用者からの要望を受け、個室に照明を導入するなど改善も加えました。今後も授業と両立し、安心して就職活動を行える環境を整備していきます」と語っていた。



獨協大学及び獨協学園の財政開示について

獨協大学及び獨協学園全体の財政状況は、7月中旬に大学ホームページで開示します。

こちらをご覧ください。

URL <https://www.dokkyo.ac.jp/about/finance/>



事務局人事

異動 4月1日付

朝倉 将彦	施設事業部情報基盤整備課長兼 保健センター事務課長
金澤 一央	総務部人事課長
平松 美保	図書館事務課長
篠原 貴士	キャリアセンター事務課長補佐
石崎 佐知子	学生部学生課長補佐
小暮 昌敏	図書館事務課長補佐
中村 千代子	教育研究支援センター教育研究支援課係長
福田 康宏	キャリアセンター事務課係長
藤波 伸子	教務部教務課係長(外国語学部長室)
小林 恭子	保健センター事務課係長

異動 5月1日付

福島 薫	総合企画部総合企画課長兼 教育研究支援センター教育研究支援課長
石崎 佐知子	学生部学生課長補佐兼係長
賀持 隆一	総合企画部総合企画課長補佐兼係長
大田 裕子	キャリアセンター事務課長補佐兼係長
兼田 博美	教育研究支援センター教育研究推進課長補佐
昼間 良次	エクステンションセンター事務課長補佐
若林 美奈子	大学院事務局事務課長補佐
谷口 聡子	総合企画部総合企画課係長
濱野 晴久	施設事業部情報基盤整備課係長
大坂 元	教育研究支援センター教育研究推進課係長
大野 達太	入試部入試課係長
早川 真琴	学生部学生課係長
松本 潤	国際交流センター事務課係長
小関 健介	教務部教務課
渋谷 健太郎	総務部総務課
平 文音	教務部教務課
高浜 みのり	教育研究支援センター教育研究推進課
村越 弘規	国際交流センター事務課
和田 保子	図書館事務課

新規採用者配属 4月1日付

荻野 翔子	図書館事務課
根本 真以子	保健センター事務課

新規採用者配属 5月1日付

杉山 朋紀	教務部教務課
竹淵 優衣	教育研究支援センター教育研究支援課
針谷 佳奈	総合企画部総合企画課
深瀬 充央	図書館事務課
村上 比菜	エクステンションセンター事務課

本学教員がNHKラジオ番組を担当

NHKラジオ「まいにちフランス語」の講師を本学フランス語学科教員が務めている。月曜日から水曜日までの入門編「Momokaの薫るフランス発見の旅」をジョルジュ・ヴェスィエール専任講師と野崎夏生非常勤講師が担当。4月～6月の木曜日と金曜日の応用編「Julieのニッポン発見」を井上美穂非常勤講師が担当した。

入門編を担当するヴェスィエール専任講師と野崎非常勤講師は「講座タイトルには、日常会話だけでなく料理や食べ物の話を通じて、フランスの歴史や文化にも興味を持ってほしい」という思いを込めました。主人公のMomokaと一緒に、楽しく学んでいきましょう」とコメント。応用編を担当した井上非常勤講師は「日本在住のフランス人女性がフランスに住む友人に送った手紙を教材にしています。この番組のテキストは図書館にもありますので、ぜひご覧ください」と語った。



ヴェスィエール専任講師と
野崎非常勤講師

番組の詳細はNHKラジオ「まいにちフランス語」公式ホームページまで。

対面での学友会団体勧誘活動を実施

学友会は、4月26日～28日、30日に学内の芝生広場及びメインストリートを使用し、対面でのクラブ・サークル勧誘活動を行った。これは主に、昨年度大学へ入構できなかった新2年生と、新1年生を対象として企画したもの。

三密を回避するため、全体のブース数を例年よりも削減し、各ブースでの人数制限も行った。各団体が日替わりで勧誘活動を展開し、4日間で計89の団体が勧誘活動を実施した。

また、4月の間、各団体からのウェルカムメッセージがプロムナードを彩った。



岡村国和先生を悼む

本田浩邦

4月にご病気でご逝去されました。あまりに突然で言葉もありません。ジョークが好きで、恥ずかしそうに笑うお姿が思い浮かびます。先生は慶応義塾に学び、広島修道大学で教鞭をとられたのち、1991年に本学にこられました。以来、経営学科長、キャリアセンター所長などを歴任されました。

ご専門は保険論でしたが、保険とは福沢諭吉が初めて日本に紹介したもので、先生はその学問的伝統の継承と発展に心血を注がれました。研究室に集う多くの学生と熱心に語り合う先生の声がいつも聞こえるようです。もっと一緒に飲みたかった。安らかにお休み下さい。

(ほんだ・ひろくに 経済学部教授)

訃報



岡村 国和 (おかむら・くにかず)

経済学部教授
2021年4月15日、病気のため死去、68歳
1991年 経営学科助教授
1993年 教授
2000年 経営学科長
2008年 キャリアセンター所長

ヤクルト並木選手が野球部にトスマシンを寄贈

今春、東京ヤクルトスワローズに入団した並木秀選手(21年経済学科卒)から、本学体育会硬式野球部にスローボールトスマシンが寄贈された。

4月22日に天野貞祐記念野球場で行われた贈呈式では、並木選手が「マシンを活用し、1部昇格をしてほしい」とコメントを寄せ、その後、部員が初打ちを行った。主将の御代川弘哉さん(営4年)は「並木先輩には練習後に食事に誘っていただくなど、個人的にもお世話になった。この厚意に一部昇格という形で報いたい」と決意を述べた。





普段の生活で、法律の存在を意識する機会はそう多くないだろう。しかし、動画共有サイトやSNSでのトラブル、振り込め詐欺といった犯罪の入り口は日常のすぐ隣にある。むしろ、ニュースで取り上げられる

法知識を実践する楽しさ

普段の生活で、法律の存在を意識する機会はそう多くないだろう。しかし、動画共有サイトやSNSでのトラブル、振り込め詐欺といった犯罪の入り口は日常のすぐ隣にある。むしろ、ニュースで取り上げられる

議論と発見の法律学

「授業で学んだ法律の知識を実践する楽しさを、法学部以外の学生たちによる議論の機会をつくることだ。」

「授業で学んだ法律の知識を実践する楽しさを、法学部以外の学生たちによる議論の機会をつくることだ。」

異なる視点から得る学び

授業では、臓器移植の問題や水保病に関する裁判なども取り上げる。医学や哲学といった他領域の学問ともつながるテーマだ。それぞれの学部・学科で専門分野を学び、異なる視点を持つ学生たちが一緒に議論するメリットが、さらに大きくなる。

「その問題について他の人たちはどんな視点で捉え、どう考えるのか。議論を通じて友達の意見に触れる経験は、講義を聞いているだけでは得られない学びになるはずだ。」

MY DISCOVERY

シリアスな表情の刑事が発した一言に、ついツッコミを入れてしまうことも——法律学を学ぶと、人気のドラマも違う見え方になるのだから。刑法だけでなく、テレビの新しい楽しみ方も学べる(?) 関根先生の授業。先生ご自身は、どんなきっかけで刑法に興味を持ったのでしょうか。

「もともとは数学が好きだったんです。でも社会科学への興味の方が強くて、その中で一番数学に近いおもしろさを感じられたのが刑法でした。論理的に考えて答えを導いたり、問題がパズルのように解けていく瞬間があったり。でも、最近はもう少し奥の深さを知ったというか……先に結論があって、それに至る論理を組み立てていくという反対の進め方もおもしろいなと感じています」

午後の談話室

第27回

法学部 総合政策学科

関根 徹 教授

SEKINE Tsuyoshi

中央大学法学部法律学科を卒業後、同大学大学院法学研究科で刑事法を専攻。高岡法科大学法学部 准教授を経て、2012年に獨協大学法科大学院准教授となり、14年より教授。17年より獨協大学にて現職。近著に『実戦演習 刑法—予備試験問題を素材にして』(2020年、弘文堂)。修士(法学)。

好きなこと: 飲み歩き・食歩き。食べものの好き嫌いは特にありませんが「耐ずし(滋賀県の郷土料理として知られる「なれずし」のひとつ)」だけは苦手。自分で料理もします。その関係で、最近は包丁研ぎが上達してきました。

好きな言葉・座右の銘: 「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」。尊敬する人物でもある、江戸時代の米沢藩主・上杉鷹山の言葉。



司法試験予備試験論文問題を詳しく解説した『実戦演習 刑法』。

浅岡 千利世(英語学科教授)共編著

『教師の自己評価』で英語授業は変わる
J-POSTLを活用した授業実践』

大修館書店 2020年3月 2800円



教師が授業を自ら評価するポートフォリオを導入すると、英語学習の指導はどう変わるのか。実践例を挙げながら、新学習指導要領を見据えた授業改善へのヒントを探る一冊です。

森永 卓郎(経済学科教授)著

『相続地獄
— 残った家族が困らない終活入門』

光文社 2021年1月 760円



父の逝去から10か月、まさに「泥沼の争執」を経験してきた筆者。経験者として、経済学者として…ふたつの視点から語る、相続で遺族を苦しめないための終活の入門書。



本箱

本学の先生方が執筆された
新刊情報

Books column

宗田 貴行(国際関係法学科教授)著

『消費者団体訴訟の理論』

信山社 2021年1月 13500円



立場が弱くなりがちな個人消費者を護る消費者団体訴訟制度。日本では2006年に導入されたこの制度が抱える課題とは？ ドイツやEUでの議論・法令を参考に読み解きます。

小柳 春一郎(法律学科教授)分担執筆

『物権法の現代的課題と改正提案』

成文堂 2021年2月 12000円



所有権を担保する法的な概念から、集合的利益などの新しいかたちの財、所有者不明の土地の権利と管理まで、様々な物権に関わる課題や法的背景を、この一冊で解説しています。

小柳 春一郎(法律学科教授)著

『仏日不動産法の現代的展開 — 所有者不明・無主不動産・土地所有権放棄・相続登記未了 —』

成文堂 2021年2月 6500円



フランスと日本での不動産法に関わる、様々な課題や問題事項に関する論文集です。新たに執筆された論文も収録しており、この一冊で同テーマを網羅的に学ぶことができます。

板場 良久(英語学科教授)分担執筆、
松本 健太郎(英語学科非常勤講師) 編著

『メディアとメッセージ — 社会のなかのコミュニケーション』

ナカニシヤ出版 2021年3月 2400円

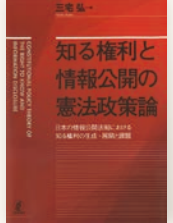


テクノロジーの進化によって姿を変えるメディア、届けられるメッセージの在り方を、様々な側面から切り拓く論文集。15人の論客による論文を4つのテーマで収録しています。

三宅 弘(交流文化学科特任教授)著

『知る権利と情報公開の憲法政策論 — 日本の情報公開法制における知る権利の生成・展開と課題』

日本評論社 2021年3月 5500円



日本における情報公開法制はいかにして生まれ、整備されるに至ったのか？ 憲法が保障する「知る権利」にまでさかのぼり、その内実と歴史を改めて分析・構成していきます。

朴 鍾厚(言語文化学科特任准教授)著

『コソコソ韓国語文法練習帳(初級)』

博英社 2021年3月 1600円



文字と発音の第一部、文法の第二部という二部構成で学ぶ、初級レベルの韓国語教材です。基本解説に加え、練習問題と模範解答も掲載。韓国語入門の強い味方になってくれます。

森永 卓郎(経済学科教授)著

『森永卓郎の「マイクロ農業」のすすめ
都会を飛び出し、「自産自消」で豊かに暮らす』

農文協 2021年3月 1400円



筆者が体験した都会と田舎の間で生きる新しい暮らし、「トカイナカ」への提案です。小さな畑を借りて行う「マイクロ農業」の魅力とともに、現代社会に幸せのありかを問いかけます。

立田 ルミ(名誉教授)編・著、堀江 郁美(経営学科教授)、李 凱(経営学科准教授)著

『実践に役立つ情報処理
— 基礎から応用まで — 2021年度版』

日経BP社 2021年3月 1900円



レポートの執筆やデータ集計、グラフ作成から、データの調査・分析、プログラミングの初歩まで、大学生で役立つ情報処理のテクニックを解説。基本が身につく実践教材です。

周 劍龍(経営学科教授)著

『現代株式会社法講義』

中央経済社 2021年3月 3200円



企業の社会的な意義、分類などから出発し、株式会社とそれを巡る規律について、一般的な通説とともに実際の判例などの研究学説を紹介。明解かつ興味深い一冊になっています。

木原 隆司(国際環境経済学科教授)分担執筆

『人口動態変化と財政・社会保障の制度設計』

日本評論社 2021年3月 4700円



人口における年齢分布など、人口動態が国の財政や社会保障に与える影響とは。高齢者層が「多数派」となった日本の世代間格差を是正する道を、多面的に探り出す一冊です。

福永 文夫(総合政策学科教授)著

『(英文版)日本占領史1945-1952:東京・ワシントン・沖縄 The Occupation of Japan 1945-1952: Tokyo, Washington, and Okinawa』

出版文化産業振興財団 2021年3月 3000円



戦後日本を創った7年間におよび日本占領を、日米双方の記録からひも解いた書の英語版。国内外の大学、図書館、在外公館等に寄贈、国内外に発信する。

根木 昭英(フランス語学科専任講師)分担執筆

『フランス文学の楽しみかた
— ウェルギリウスからル・クレジオまで —』

ミネルヴァ書房 2021年4月 2800円



第一部では、古代ローマの叙事詩「アエネイス」から20世紀の大作「失われた時を求めて」まで順に解説。第二部では文学の持つテーマや意味に切り込む、フランス文学を俯瞰する解説書です。

■ 獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としてあります。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。

2020年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

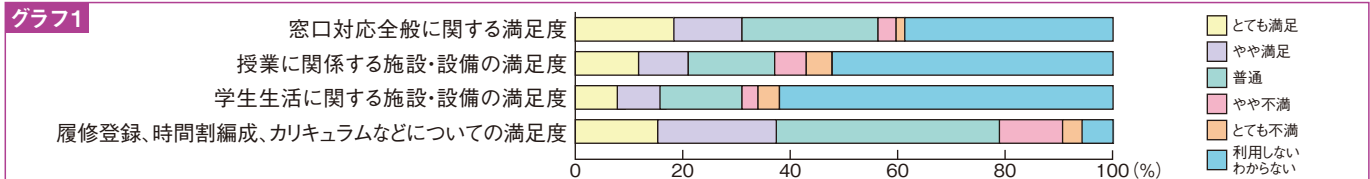
実施概要・調査方法 「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、学部生、大学院生、聴講生などのみなさんから意見を広く集め、窓口や施設に対する満足度を調査し、課題を発見することを目的として年1回秋学期末に実施しております。

アンケートは、原則、第13回目あるいは第14回目の授業日(最終授業日)(1月9～26日)のクラス指定の必須科目、演習科目にて教員から学生への指示の下でおこないました。本学では2020年度秋学期は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実技・実習を伴う授業等を除くほとんどの授業を遠隔(オンライン等)で実施しました。これにより、リアルタイム型以外の授業では授業中に教員から学生への指示が困難となり、対象となる全ての学生に対して、1月9日～27日の間に各自アンケートに回答するようPorTaIIの個人向け掲示板や電子メールにより呼びかけました。

アンケートの内容については、選択式と自由記述式をとり、選択式では窓口サービスや施設の設問に対しての満足度を調査しました。また、自由記述式では、設問にある窓口、施設を具体的に選択させ、それに対する満足度とその理由の記述を求めました。

集計方法 選択式については、それぞれの設問に対し集計をおこない、また自由記述については、回答者が入力した原文をそのまま集計しました。なお、集計の際には学生個人を特定するデータは一切含まれておりません。

結果報告 学部生、大学院生、聴講生など合わせて8,187名の対象者の内、1,079名のみなさんから回答いただきました(回答率:約13.2%)。そのうち学部生、大学院生については、それぞれ所属別・学年別に満足度を集計しました。各設問に対する回答者全体の満足度の結果は「グラフ1」の通りです。自由記述については、回答者個人を特定できないように資料を作成し関連事務局へ渡しました。個々に対する質問には回答しませんが、「自由記述に対する事務局からのフィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。なお、満足度について、2020年度はコロナ禍のため、学生の利用が過年度と異なることを考慮する必要があります。



今後について 今後は「事務局自己点検・評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく課題点を抽出し、その検討及び改善に取り組みます。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

概要

1. 2020年度教育環境改善報告

2019年度のアンケート結果を受けて行った2020年度の改善について報告します。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、対面授業から遠隔授業への転換、遠隔授業支援特別奨学金の給付など学生のみなさんが学びの継続を止めないために様々な課題に取り組んできました。

対面授業から遠隔授業への転換では、リアルタイムでの授業ができるようにZoomやWebexといったWeb会議システムの導入、またオンライン上で講義資料の配布やレポートの提出、グループワークが行えるように学習支援システム(LMS: Learning Management System)である「manaba」を導入しました。

遠隔授業支援特別奨学金(給付型)は、遠隔授業への移行に伴う学修環境整備の負担軽減のため、全学部生・大学院生を対象に募集告知、2次申請者を含め全学生の98.5%に支給しました。また、家計急変により学業の継続が困難になった学生のために授業料減免や給付金の特別措置も実施しました。

その他、本学内の書店によるオンラインでの教科書販売、図書館が契約している電子書籍やデータベースの自宅利用、郵送での図書館書籍の貸し出しなどサービスの提供を実施しました。

事務局では、大学全体の重要課題に取り組むつ、事務局自己点検・評価委員会において、窓口対応、授業関連施設、学生生活施設の改善をはじめとする、諸施策を推進しました。社会の変化と学生のみなさんのニーズの変化に対応するため、本アンケートで挙げられた要望をもとに教育環境の改善を着実に進めていきたいと思います。

■ 窓口対応

- 学生からのみなさんからの指摘やご意見について各部課で話し合いをおこない、速やかな改善に取り組みました。
- 「挨拶」、「丁寧」、「正確」のスローガンと教育的配慮に基づいて、学生のみなさんとの良好な関係づくりや、積極的な情報発信などに取り組みました。

■ 授業関連施設

- アリーナ及び人工芝グラウンドを利用する団体においては、感染予防対策のガイドライン作成等、厳しい利用上の要件を課した上で利用を再開しました。
- 利用者の安全のため、アリーナ床のウレタン塗装を夏休み中に実施しました。また、竣工後13年目になる人工芝グラウンドの芝張替工事を2021年3月に完了しました。より安全かつ快適に授業や学友会活動で利用できるようにしました。

■ 学生生活施設

- 学生向けの学食等施設は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、遠隔授業を中心とした入構制限となったため、休業せざるを得ない状況となりました。
- 入構制限の間の2021年3月に35周年記念館の学生食堂の照明のLED化は完了しました。従前の照明器具は天井からワイヤーで吊られた蛍光灯で、地震時の落下が懸念されていました。今回、照明設備のLED化に伴い、耐震化も同時に行いました。新しい照明器具は天井に固定する方式としました。

2. 2020年度実施のアンケートに対するフィードバックコメント

■ 窓口対応

- 「丁寧」、「対応が良い」などの意見をいただいておりますが、「無愛想」などのコメントもありました。この点については今後、事務局自己点検・評価委員会を通じて、窓口スローガンである「挨拶」、「丁寧」、「正確」の意識のさらなる徹底を図ります。

- オンラインでの問い合わせ場所について、新型コロナウイルスの影響で、従来の窓口での問い合わせができなくなったことから、大学ホームページトップページの最下段にある「お問い合わせ」から遷移できる「お問い合わせフォーム」の「あなたの」(属性)欄に、「在学生」を追加しました。総合企画課が担当部署に転送し、複数部署と調整の上、よりふさわしい回答を作成しているため、各窓口のメールアドレスは掲載していないことをご理解ください。

■ 授業関連施設

- 更衣室について、コロナ禍のもと、新たに空気除菌装置を設置し、消毒液を常備しています。また、活動のインターバル時間にロッカーの消毒作業を行っています。利用可能なロッカーには引き続き制限がありますが、安全なご利用を心がけてください。
- 図書館について、2021年4月より予約なしで利用できることとしました。今後も、感染予防対策を最大限おこないつつ、段階的にサービスを拡大して行く予定です。最新の情報については、図書館HP、PorTaII等をご確認ください。
- 西棟3階のラーニング・スクエアについて、2021年度は、対面授業の合間のオンライン授業受講の際にご利用いただけるよう、ラーニング・スクエア1にも認証プリンターや常駐スタッフを配置しました。また、机を1人掛用へ再配置して、常設パソコンも設置しました。グループ学習は、ラーニング・スクエア2を予約利用いただけます。なお、ラーニング・スクエア1は常設パソコン設置のため、グループ学習での利用ができなくなりましたが、大学構内には他にもグループ学習できるスペースを用意しています。冊子「自習スペースMAP」を学内各所で配布していますので、ぜひご覧ください。
- ICZについて、2021年度の運用は、通常とは異なり、オンライン授業に対応した自習エリア、グループワークエリアとしての「場」を提供します。今後、通常の運用に戻った際には、ICZのコンセプトである多文化多言語のコミュニケーションゾーンであり続けるため、学生のみなさん一人ひとりの工夫とご協力をいただき、より良い空間となるよう、みなさんとともに作っていきたくと考えています。

■ 学生生活施設

- 学生食堂について、メニューについては、継続して対応を進めていきますが、新型コロナウイルス禍においてはメニューを限定せざるを得ない状況です。また学食内の感染予防対策として、3密を防ぐための席数の制限(これまでの半数)、全テーブルにパーティションを設置、定期的な除菌清掃、適宜窓開けによる換気をおこなっています。しかし、感染源の主な原因である「飛沫感染」を防止するため、学生のみなさんが食事中にマスクをはずしたまま会話をしない「黙食」を徹底いただくようお願いいたします。そのほか、スタイルカフェやスタイルカフェ・スタンドは当面休業となりますが、キッチンカーやセブンイレブンは営業を再開しますのでご利用ください。
- トレーニングルームは、講習会を受講すれば卒業まで利用できる施設です。2021年度は、毎月3回講習会を実施する予定です。詳細は、PorTaIIに掲載します。
- 喫煙は、必ず学内3カ所(①中央棟北西側、②西棟南側、③天野記念館南側)の喫煙室内でお願いします。喫煙室内も「密」に注意し、会話はしないでください。

■ その他

- Webシステムについて、「manabaの導入で、課題提出が楽になりました」との意見をいただきました。manabaの導入により、先生方と学生のみなさんとのコミュニケーションがよりよくなったと感じております。
- 「授業で利用するシステム(PorTaII, manaba, MyDOC)が授業ごとに違うので分かりにくい」との意見については、シラバスにて授業で使用するシステムを明記し、各教員から配信される初回の授業案内はPorTaIIにて連絡することを、引き続き徹底していきます。

この記事の詳細はHP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページ内にある「学生による教育環境改善のためのアンケート」をご覧ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>

仕事の現場から

Vol.14

卒業生に
仕事についての喜びや、
獨大生に向けてのメッセージを
語っていただきます。

人とのつながりと経験が 私の仕事を支えています



私は、東急ハンズ銀座店で販売チームのリーダーとして働いています。主な仕事内容は、店頭で立ち直接お客様をご案内することや、裏方としてお客様がお買い物しやすい品揃えや商品配置を考えること、そしてスタッフが働きやすい環境を整えることです。私の立場はリーダーですが、あくまでスタッフのひとり。店頭に立つ仲間とともに意見を出し合い、サポートし合いながら、日々切磋琢磨しています。



株式会社東急ハンズ
織田 優奈 さん(18年英卒)

お客様の中には、商品について驚くほど詳しい方も多く、難しい質問をされたり、10年ほど前に店頭で見た商品について、「わかるでしょう」と尋ねられることもあったり…。商品についての知識や臨機応変な対応が求められます。私一人では対応が難しい時に助けてもらい、仲間の大切さを常にかけています。

そんな状況を仲間とともに乗り越え、お客様からお礼の言葉をいただいたり、名前を覚えて、お声をかけていただいたときはひときわ嬉しいですね。

店頭立つ時も、裏方として試行錯誤する時も、仲間の声に耳を傾け、全員が最大限の能力を発揮できるような職場作りを心がけています。いざという時に意見を出し合い、サポートし合えるよう、普段から積極的にコミュニケーションを図るようになっています。

私は学生時代「お客様と話したい」「直接反応を見たい」という思いから、飲食店でアルバイトをしていました。どうすればお客様に喜んでもらえるだろうか、と手帳に話題やアイデアをメモしていたこともあります。今考えると、この時の思いが私の原点でした。就職してからの仕事は、スタッフに指示を出したり商談や売り場づくりで頭を悩ませたりと、大変な事は多くあります。でも先輩スタッフが親身になって支えてくれますし、なにより、お客様の相談に乗って、目の前で喜ぶ顔を見ることができます。このために頑張ろうという気持ちは、今も変わっていません。

また、売り場づくりはまるで自分のお店を持つているようで、大きな裁量とともに責任を与えられていることにもやりがいを感じています。



周囲からの推薦もあって選ばれた接客の証。

働き始めて感じたのは、考えていた以上に大学で学び経験したことが、仕事に役立っているということです。その一つが語学。銀座店は海外からのお客様も多く、大学で学んだ外国語には何度も助けられました。そのほかにも、SDGs 商材の企画の時に、講義で学んだ「ジェンダー」についての知識が売り場づくりのヒントになったことがあります。学生の頃は、好奇心からいろいろな授業を選択していました。正直言って「これが将来役に立つことなんてあるのかな？」と思っていました。いま振り返ってみると、そうした積み重ねが意外なところで私の力になってくれていると感じます。

私はまだまだ勉強中の身です。学生時代にそうだったように、今も気になる研修に参加して日々経験を積み、いろいろな人に支えられながら仕事に励んでいます。学生の皆さんも、興味があることは自ら学び、いろいろな人と触れ合いながら成長していかけてください。きっとそれが将来の糧になるはずです。

織田さんのある一日のタイムスケジュール



※ 開店は11時のため遅番になります。

表紙の紹介

本号表紙は、図書館1階の様子をイラストで表しています。図書館は、天野貞祐記念館の西側ゾーンにあり、授業の前後に利用者が立ち寄りやすいよう、1階から3階の各階から入館できるようになっています。閲覧席は本棚に隣接しており、グループワークができる部屋から一人で集中できる個室まで、気分や用途で選べます。みなさんもお気に入りの場所を見つけて、図書館を大いに活用してみたいはいかがでしょうか。

Illustration : Junichi Kishi

第49回学生懸賞論文 募集開始

- テーマ ※大学ホームページを参照
- 応募締切 10月20日(水) 17時
- 応募方法 PDFファイルをメール添付で提出
獨協大学総合企画課 学生懸賞論文係 kronbun@stf.dokkyo.ac.jp
※メールのタイトルに「第49回学生懸賞論文応募」と明記
- 賞 最優秀賞 賞状及び副賞10万円
優秀賞 賞状及び副賞 5万円
※応募者全員に記念品(QUOカード千円分)を贈呈
- 入選発表 本学ホームページ、大学内掲示板および、『獨協大学ニュース1月号』に掲載予定。
最優秀賞の本文を『獨協大学学報』、最優秀賞と優秀賞の要旨を本学ホームページに掲載予定。

獨協 学生懸賞論文

検索

9月卒業式・学位記授与式

日 時: 9月20日(月・祝) 10:00~

場 所: 天野貞祐記念館大講堂

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年は以下のとおり実施します。

■ 式典後の各卒業生への学位記授与は、学部別に別室控室にて行います。

■ 祝賀会は行いません。

■ 式典の参加は卒業生のみとさせていただきます。

保護者並びにご家族、関係者の皆様方の学内への入構はご遠慮願います。

■ 卒業生は、当日学生証をご持参ください。

今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては内容が変更となる場合があります。詳細は改めてPorTaIIおよびホームページでご確認ください。

2021年度春学期

「学生による授業評価アンケート」にご協力ください

詳細はPorTaII → 「ダウンロードセンター」 → 「学生用フォルダ」 → 「授業評価(教育改善)アンケート」の資料を確認してください。

期 間: 7月9日(金)~7月25日(日)

対 象: 全学生

回答方法: PorTaII上で回答

所要時間: 約30分

問合せ先: 自己点検・評価室(6棟1階)

☎ 048-946-1824, 048-951-2666

✉ jikotenken@stf.dokkyo.ac.jp



ぶらりらいぶらり

Vol. 100

電子ブックで英語多読

英語多読とは、たくさんの本を読んで、英語を英語のまま理解し、徐々にレベルを上げていく学習法です。ペーパーバックは、3階12番書架、請求記号が837.7で始まる棚に、3000冊ほど置かれています。いつでも、どこでもアクセスできる電子ブックは英語多読にピッタリ。約500タイトルある電子ブックのシリーズをご紹介します。

■ LibrariE(ライブラリエ)

(<https://www.d-library.jp/dokkyolib/g0101/top/>)

※利用にはID・パスワードが必要です。

PorTaII ▶ 掲示 ▶ 掲示板 ▶

図書館・学修支援・語学学習 ▶

【図書館】LibrariE(ライブラリエ)の利用方法をご確認ください。

- ・ Oxford Bookworms
- ・ IBC Ladder



■ Maruzen eBook Library

(<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/Top>)

※学外からのアクセスには、VPN接続が必要です。

PorTaII ▶ HOME ▶ ダウンロードセンター ▶ 学生用フォルダ ▶ コンピュータ・Wi-Fi など ▶ SSL-VPN接続の利用方法をご確認ください。

- ・ Macmillan Readers
- ・ Page Turners
- ・ Foundations Reading Library
- ・ Atama-ii Books
- ・ Girlz Rock!
- ・ Boyz Rule!
- ・ Cambridge Experience Readers



ぶらりらいぶらりは、2009年4月の第1号から今回で第100回を迎えました。

モットーは「楽しく!」です。

まずはやさしいと感じるレベルから始めてみましょう。(<https://www.dokkyo.ac.jp/library/search/onlinebook.html>)

詳しくは「獨協大学図書館ホームページ ▶ 図書・資料を探す ▶ オンラインブック」をご覧ください。

編集 総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

学生記者	跡部 雄太郎(総2年)	池下 奈穂ヴェレーナ(独2年)	伊藤 あす美(関3年)	遠藤 夏乃(済3年)
[五十音順]	岡田 陽依(英1年)	尾木 草輔(律2年)	柿沼 伶(交2年)	川上 徹也(環4年)
	小林 優麻(律4年)	斉藤 駿斗(律1年)	杉田 慶一郎(律3年)	鈴木 綾夏(英3年)
	高橋 弘行(済3年)	張 政(英3年)	長橋 ずず音(言2年)	初澤 汐里(独4年)
	原 友里恵(英1年)	藤岡 希(英3年)	古田 千夏(独4年)	古谷 一真(交1年)
	堀口 太陽(英3年)	村井 ひかり(独2年)	吉見 麻菜(済2年)	

